

視察研修報告書

令和6年10月31日(木)～11月1日(金)に議会広報常任委員会視察研修のため、神奈川県開成町・山北町での視察研修に参加しましたので、その内容について別紙(下記)のとおり報告いたします。

令和6年11月17日

職名:粕屋町議会 議会広報常任委員会

氏名:古家昌和

報告事項 議会広報常任委員会研修

(1-1) 視察内容の報告

日時:令和6年11月1日(金) 午前10時00分～11時30分

場所:神奈川県足柄上郡開成町(庁舎内)

視察内容:議会広報の取組みについて

出席者:開成町:5名(議員4名、職員1名)

粕屋町:9名(議員8名(議長含む)、職員1名)

特徴ある議会広報の取組みと結果(人口:18,729人(R6.11.1 現在)定数:12名)

神奈川県開成町議会は、住民にわかりやすく情報を届けるために、定期的なタブロイド版議会だよりの発行の他、ホームページの充実化とYouTubeでの短編動画配信を通じて広報活動を積極的且つダイナミックに実施しています。この2つの広報ツールを軸に、住民が議会活動を理解しやすく、誰もが関心を持てるような工夫が凝らされていました。議会の重要な決定やイベントの告知、進捗状況などの情報を住民が見飽きない程度の短編動画にまとめ、タイムリーに提供されています。これにより、住民はリアルタイムで議会の活動に関する最新情報を知ることができ、町議会への関心や理解が深まり、住民参加型の議会運営が更に推進されることが期待されています。

■議会広報改革

時勢にあった改革を大胆に推進!～「読む」から「見る=魅せる」改革～

議会広報紙「ギカイだより」の改革

議会ウェブサイト令和4年9月に開設

広報紙とウェブサイトの両輪で 広報改革を進めています

●ホームページの充実

◆コンテンツを整理し、2クリックで得たい情報にたどり着く

◆色の組み合わせで視覚のバリアフリー化 全ての人に優しいユニバーサルデザイン



開成町議会のホームページはトップページを始め、全ページに渡りかなりのインパクトがあり、次が見たくなる工夫が盛り込まれています。議会の活動や会議資料、議事録、議員紹介、委員会の情報が細かく整理されており、住民が知りたい情報に容易にアクセスできるよう設計されています。議会の開催日程や、各会議の議題・議決内容も公開され、透明性が高く、住民が町議会の動きを常に把握できる環境が整っている。

特に、ホームページでは「何だかすごいぞオオオオ〜〜〜ッ開成町議会ッ!!」をタイトルトップに据え、第一印象で一般的な議会のイメージを払拭し、鮮烈な印象を与えている。用語には解説を加えるなど、誰でも理解しやすい表現が用いられている。また、議会報告や活動内容の概要も視覚的にやさしく設計されており、見やすさと理解しやすさを追求。様々な工夫により、普段から議会に関わる機会が少ない住民でも、開成町議会について把握しやすい作りになっている。

●YouTubeでの動画配信

YouTubeでの動画配信は、開成町議会の広報活動における最も特徴的な取り組みです。町議会では、定例会や委員会での議論の様子、予算案の審議、新しい政策に関する議員の質疑など、重要な会議内容を限界ギリギリの短編動画で配信しています。住民はインターネットを通じて、自宅や外出先からでも会議の様子をリアルタイムで視聴できるため、物理的に会場へ足を運ぶことなく、議会活動に触れられる環境が提供されています。また、一般質問の録画には字幕を入れ、アーカイブ動画が残されており、その他の動画も、見逃した場合でも後日視聴が可能。アーカイブ機能により、住民が興味を持ったテーマについて自由なタイミングで視聴でき、議会活動への関心をさらに高めています。動画配信では、全議員が自分の言葉で住民に向けて短編動画を発信しており、文字の羅列では伝わらない温度感や思いを議員各々の言葉でダイレクトに伝えるよう工夫がなされており、より深い理解が得られるようになっている。

●双方向のコミュニケーション

YouTubeのコメント機能やSNSの連携、広報紙により、住民からの質問や意見が寄せられる場も設けられています。これにより、議会が住民からのフィードバックを得やすくなり、住民の声を反映させた政策形成につなげることが可能です。特に、政策に対する住民の意見や懸念点についても迅速に対応できる体制が整っており、双方向のコミュニケーションが図られている。

●住民参加型の広報活動

ホームページの充実や動画配信を通じた広報活動は、開成町議会が目指す「住民参加型の議会運営」を支えるものです。住民が積極的に議会活動に関心を持ち、意見を述べることで、地域に根ざした議会運営が実現されています。これらの取り組みを通じて、開成町議会は住民との信頼関係を深め、開かれた民主的な議会の実現を目指している。

【その他、特徴的な議会改革】

●通年の会期制の導入

平成 26 年 12 月会議において、「開成町議会の会期等に関する条例」を制定し、1 年間を会期とする「通年の会期制」に移行。（平成 27 年 4 月 1 日施行）

平成 24 年 9 月の地方自治法改正により、定例会・臨時会の区別を設けず、議会の会期を条例で定める日から 1 年間（通年）とすることができることとなった。

それに先んじて平成 22 年 1 月より関東地方で初めて「通年議会制」を導入しており、会期がほぼ 1 年間に近い中で運用を行ってきたが、この条例の制定により地方自治法に基づく「通年の会期制」へ移行。また、町民の議会参加を進めるため、あらかじめ議会を開く日を「定例日」として定める。

●日曜議会

【実施の経緯】

傍聴者が減少傾向にあったこと及び平成 17 年度前後に、「夜間議会」や「日曜議会」が先進的な取組として全国で始まったことで、開成町議会でも実施することとなった。

【開催時期】

- ・町制施行 50 周年を記念し、平成 17 年度から開催。
- ・第 1 回は、12 月に開催し、第 2 回から町の重要イベントである 6 月に開催している「あじさいまつり」の開催に合わせ毎年実施。

●【新たな取組】

- ・令和 4 年 6 月定例会議で初の無料託児サービスを実施。

●議場を自習室として開放

夏休み期間中に議場が自習室として開放。

2023 年から始まった“議場の一般開放”が今年も実施され、自習室として活用されています。議会としては、町議会への関心、ひいては議会議員活動や町政への関心が高まることを期待。公共施設の有効活用、クールシェアを通じた環境対策や家計支援に資するものであり、町も賛同している。

- ・時間： 午前 9 時から午後 5 時まで
- ・予約： 不要 ※Free Wifi 使用可能
- ・対象： 中学生以上（町内外不問。大人も利用可能）

●ギカイだより(タブロイド版)

令和 3 年 8 月 1 日(207 号)よりペーパーレス化を強く意識したデザインへ一新(令和 3 年度全国町村議会 2024/4/17 広報コンクールで奨励賞(編集・デザイン部門)を受賞)

更に、令和 4 年度(210 号)から見開き 1 ページのタブロイド版に変革。

開成町

夏休み 議場が自習室に

議員専用生一階開放

【写真】

開成町は夏休み期間（7 月 23 日（金）から 8 月 28 日（月））に合わせ、役場 3 階にある議場を町内外の中学生以上に自習室として一部開放する（土日祝除く）。開かれた議会として親しみを持ってもらうことや、多くの人に公共施設を利用してもらうことなどが狙い。



議場で学習する開成町のキャラクター「あじさいちゃん」



●取組を進める上で気をつけたこと

- ・広報が、議会活動が「議員」ではなく「議会」活動として、町民目線での発信となっているか。
- ・幅広い世代に議会に関心を寄せていただく取組みとなっているか。
- ・「今」の取組が時勢に合わない場合は、見直す勇気も必要。

●取組の成果

- ・議会だよりについて賛否が届くようになった。
- ・YouTube の再生回数がリアルな反応として実感がもてるようになった。
- ・身近な議会となるために議員自らが動くことで「動き」を通じて発信することが浸透し、開かれた議会の実現につながっている。

●改革の成果として

- ・令和3年度から令和5年度まで、全国町村議会表彰を3年連続受賞
令和4年度は、町村議会特別表彰を受賞
- ・第18回マニフェスト大賞議会改革賞受賞
「2年間の日本一多岐に渡る議会の取組」

(1-2) 視察内容の報告

日 時：令和6年11月1日(金) 午後1時30分～3時00分

場 所：神奈川県足柄上郡山北町(庁舎内)

視察内容：議会広報の取組みについて

出席者：山北町：4名(議員3名、職員1名)

粕屋町：9名(議員8名(議長含む)、職員1名)

特徴ある議会広報の取り組みと結果(人口：9,302人(R6.11.1)定数：12名)

- ・写真の活用
- ・QRコードでYouTube動画へ呼び込み

■工夫している点⇒特集ページを設ける



・町民を登場させる

■言語や文章、編集上の留意点

- ・小学4・5年生でもわかりやすい表現
- ・見やすいフォントや写真の活用
(キャプションをつけて)
- ・縦書きと横書き、枠組みなどの視覚効果
- ・アイキャッチとホワイトバランス
- ・エントツは避ける



・議員を登場させる

■議会広報モニター制度

議会広報モニターの選任

- ・令和2年4月～スタート 3シーズン目
- ・町内6地区から11名選出(公募)
- ・任期2年

【活動内容】

- ・「議会のおと」年4回のアンケート
- ・意見交換会(年1回以上)

協力を得るためのポイントは？

- ・日ごろから地域のコア人材と接触する
- ・Face to Face の関係を構築する
- ・あとは一本釣り…
(公募ではなかなか集まらない)

↓↓↓

【結果】

- ・モニターメンバーになり、責任感が生まれる？
- ・「議会のおと」を隅々まで読んでもらえる
- ・毎回アンケートには書き込みがギッシリ！



・子ども向けページの掲載



- ・喜んで継続してもらえる人もいたり…
- ・中には行政や議会批判までしていただける方まで（…困）

■ 議会報告会の取組み

これまでの議会報告会

- ・年に1回町内6地区の集会所で開催
- ・対面対座方式
- ・意見が出にくい環境
- ・1人の発言が長い



●意見が出にくい対面対座方式

グループ討議に変更

2022年～ コロナを機に見直し

※問題だった点を改善

- ・毎回メンバーが固定（自治会長クラス）
- ・人集めなど声掛けに苦難
- ・町側も同様なことをしている
- ・毎回メンバーが固定（自治会長クラス）
- ・人集めなど声掛けに苦難
- ・町側も同様なことをしている



●意見が活発な車座集会方式

●委員会活動報告動画配信



●議会活動レポート：全戸配布



（2）粕屋町の現状

広報紙に関してはこの数年間大幅な改善は行ってきたつもりではあるが、ホームページ

ジ、YouTube などの発信において、デザイン性に乏しく、だれもが興味を持てる内容になっていないとは思えない。良い点を挙げるならば、ホームページに関してはシンプルな作りになっており、情報の閲覧性が重視された最低限の情報を得るためには最適な作りとなっている。

開成町議会は躍動的でフレッシュなイメージを抱かせるホームページと見飽きない工夫が各所に施された YouTube を通じ、住民へのわかりやすい情報提供と双方向の交流を意識した広報活動を行っており、住民参加型の議会運営に注力していることが一目で分かる作りになっている。

山北町議会の広報紙では、住民が感心ありそうな議題について詳細な情報を伝え、住民に理解しやすく伝える工夫が施されている。また、住民からの意見や視点を積極的に受け入れる姿勢が強く、双方向のコミュニケーションを常に意識することで、より住民参加型の議会運営を目指していることが広報紙からも十分に読み取れる。

（３）課題と対策、町への活用等

●ホームページの構成と充実度

粕屋町議会：粕屋町議会のホームページは、住民に向けた基本的な議会情報が網羅されており、議会の開催日程、会議の概要、議事録などの閲覧が可能。また、議員名簿や各委員会の活動内容も掲載されているが、ページ構成がシンプルで、情報量は必要最低限にとどまっている。行政情報の基本を伝えるだけの作りで殺風景。要改善必須。

開成町議会：開成町議会のホームページは、インパクトに優れている上、視覚的に理解しやすいように分類されており、各会議の資料や議事録に加え、議員ごとの活動内容に関する内容が充実している。特に、短編動画を活用し、分かりやすく伝えるための議会改革をコンセプトに、用語の解説や、動画を使った視覚的な表現が多用され、見やすさと理解しやすさが追求されている。また、各会議の内容も詳細にまとめられているため、住民が必要な情報に簡単にアクセスしやすい。

●YouTube での動画配信

粕屋町議会：粕屋町議会の YouTube 及び動画配信は、主に定例会や重要な会議の様子をライブ配信およびアーカイブとして公開している。会議全体を視聴する形が基本であり、特定の議題ごとに区切られた動画や要約版の配信は限られている。また、議会での審議の様子をそのまま配信され、動画に説明や解説がないため、議会進行を理解している人

向けの内容で、視聴者に興味を持ってもらえる作りになっていない。

開成町議会：開成町議会の YouTube 配信は、定例会や委員会の審議内容に加え、特定のテーマや政策について解説した動画があることが特徴。議題ごとに動画が分けられていることが多く、住民が関心のある話題だけを選んで視聴しやすい工夫がされている。また、重要な議題については、要約や説明が加えられ、初めて視聴する人でも内容が理解しやすいよう配慮されている。議会活動に関する動画の他に、議会報告会や住民向けの説明会なども配信しているため、幅広い内容を提供しており、住民が議会活動への理解を深めやすくなっている。

山北町議会：山北町議会の YouTube 配信は、議会の審議の様子と一般質問が主、議会報告会や委員会活動が一部掲載されている。特定の議題について議員が解説する動画や、政策に関する説明動画の配信は行っていない。

●議会だよりの内容と特徴

粕屋町議会：粕屋町議会の議会だよりは、主に議会の開催日程、議案の概要、予算審議の結果、議員の活動報告、ダイジェスト版の一般質問などを掲載。情報は必要最低限にまとめられ、形式もシンプルで、町民が手軽に読みやすい内容になっており、要点をコンパクトに伝えることに重点をおいている。粕屋町では、住民が容易に議会の動向を把握できるよう、紙面での情報発信も重視している。

山北町議会：山北町議会の議会だよりは、少ない文字数で議会の議決内容や質疑の概要、委員会での討議内容などが詳細に記載されており、住民が議会の様子を具体的に理解できる工夫がされている。また、定期開催の意見交換会「おしゃべり Cafe」や「出張おしゃべり Cafe」の様子を連続して掲載。その他特定のテーマについて特集ページを設けたり、複雑な議題の背景情報などを交え住民への影響をわかりやすく解説する他、視覚的に理解しやすいように整理されている。

●双方向コミュニケーションと住民参加の促進

粕屋町議会：粕屋町議会の YouTube 配信でのコメント機能は有効ではあるが、一方的な情報発信が中心。ホームページ上での双方向の意見交換もできない。そのため、情報を届けることを主な目的としており、住民の声をリアルタイムに反映する仕組みはない。

開成町議会：開成町議会は双方向のコミュニケーションを重視し、YouTube のコメント機能や SNS で住民の意見を積極的に受け付けている。また、ホームページ上には意見を投稿できるフォームやアンケート機能が設けられており、住民の声を反映しやすい仕組みが整っている。住民から寄せられた意見や質問に対して議会が迅速に応答し、双方向の対話を重視する姿勢が特徴的。

山北町議会：山北町議会は、ホームページや広報紙を活用し、住民からの意見や質問を受け付ける体制を整えている。また、議会だよりに住民からの質問コーナーや議員との意見交換会「おしゃべり Cafe」や「出張おしゃべり Cafe」（偶数月の 20 日）の案内や当日の様子も掲載されており、住民が議会活動に意見や感想を寄せやすい環境が整っている。議会広報活動を通じて住民の声を積極的に議会運営に反映させる方針があり、議会の透明性だけでなく、双方向性もかなり重視している。

●まとめ

粕屋町議会でも住民との双方交流を行い始めた今、議会独自のホームページ獲得のた

め、独自ドメインの取得、それを維持・管理していく予算の確保は、開成町議会の事例を参考に、早期実現に向け重要課題として捉えるべきである。多くの町民に議会活動に興味を持ってもらうためには、情報の相互発信を意識した視認性とデザイン性と両立させた自由度が高い双方向の住民参加型サイトの運営が早急に望まれる。

開成町では事務局が企画・サポートし、動画編集を原則、議員が行っていた。

5年間で1000万円(200万円/年)の予算をかけサイト運営を業者へ依頼。一定の予算を投じることが、安定的なサイト運営につながることもよく理解科できた。開成町の場合はスキルと行動力が備わった職員の熱意が推進力となり、議員全員と事務局がワンチームとなり、全ての広報活動の原動力となっているようだ。お互いが影響しあいながらサイト運営に取り組んでいくことが充実したメディアによる情報発信成功の秘訣と感じた。

また、山北町議会は住民からの意見を積極的に受け入れる姿勢を強く打ち出している。特に興味を持ったのは、議会広報紙に特化したモニター制度の導入である。住民にとって気軽に引き受けることができ、任期後も議会に関心をもってもらうことが期待できる。

粕屋町議会が目指す「町民との共創による開かれた議会の実現」を達成するための手段の一つとしては最適解だと思う。来期にはこの手法も参考に議会モニター制度の導入と実施を実現したい。今後も双方向のコミュニケーションを意識し、住民との心の距離感が近い広報紙作りと情報発信に注力し、更なる住民参加型の議会運営を目指す必要がある。